

2009年12月議会 道後山高原合宿センターの指定管理者の指定について反対の討論

2009年12月4日 日本共産党 藤木くにあき

日本共産党の藤木くにあきでございます。

私は、議案第189号 道後山高原合宿センターの指定管理者の指定について反対の討論をおこないます。

そもそも、道後山高原合宿センターなるものは、6月議会での一般質問で詳しく明らかにしたとおり、「夏休み中の2ヵ月間について、定員約100名の、現在のひば道後山高原荘だけでは不足しているため、3km離れた道後山の山の家を利用してもらっているが、不便なので、主に、市民以外の中高生の利用に提供するためではあるが、4200万円の市民の税金をつかって、旧三坂小学校を、年間をつうじて開設する宿泊施設にしたい」という、不要、不急の建設事業でした。

私は、この施設は、赤字になること、その程度の利用のためなら、既存の道後山の山の家を利用してもらい、それでも不足するものについては、西城町のまちなかの旅館などを利用することを検討すべきだと、その解決方法も提案してまいりました。

したがって、後山高原合宿センターは、すでにつくられたのだから、仕方がない、指定管理者の指定には無条件で賛成だ、という立場に立つわけにはいきません。

このような、不要、不急の建設事業は、今後も、絶対に、認めることはできないことをつよく指摘して、私の討論といたします。